


2月4日(土)から
縄文時代の企画展が
始まるよ!



【縄文時代によく使われた道具は?】

今回はおよそ1万年続いた縄文時代にタイムスリップしましょう。約2万年前、氷河期が終わりに近づくと、地球は暖かくなっていきました。大陸を覆っていた雪や氷は解け、海水面が上がり、日本列島は大陸から切り離されました。気温が上がったことで、大型動物(ナウマンゾウ、オオツノシカなど)から小型・中型動物(イノシシ、シカ、ウサギなど)に変わり、猟がしやすくなりました。また、木の実をつける植物(クリ、ドングリなど)が増え、それらを食べるようになりました。縄文人は、家(竪穴建物など)を造って定住するようになりました。

縄文時代の中で、道具としてよく使われたと思われる①『石皿と磨石』と②『石鏃』について紹介します。

①『石皿と磨石』は、ドングリなどの固い殻をたたき割って実をすりつぶしたり、肉や魚をミンチ状にすりつぶしたりするために用いました。木の実などは粉にし、その粉を練って焼き、クッキーのようにしていたようです。右の写真には実際にドングリを載せてあります。また、木の実などには、アク(渋みやえぐみ)があり、食べにくいものもありました。しかし、水にさらしてアクを抜く方法や、加熱して調理する方法などを考え、便利に生活できるように知恵を出していきました。



①石皿と磨石(すりいし)
(御麻生園町王子広遺跡から出土)

②『石鏃』とは、石で作った矢じりのことで、矢がらという細長い棒の先につけて狩りの時に使いました。狩りでは、落とし穴などの罠を作ったり、弓矢で動物をしとめたりしました。石鏃は、サヌカイトや黒曜石という石材で作ります。打ち欠くと刃物のような切れ味をもつ破片がとれる石材です。石鏃は、先端が細くて軽く、よく飛ぶので、遠くから獲物をねらうことができました。石鏃をつけた矢は軽く、何本も持ち運びが可能なので、より狩りがしやすくなりました。

これらの①『石皿と磨石』や②『石鏃』を使うことで、自然環境に左右されつつも、猟や採集は盛んになったと考えられています。

はにわ館では2月4日(土)から「これなんなん?なんでなん?」縄文時代編の企画展を行います。①、②のように、松阪市内から出土した石器なども展示してありますので、是非ご覧ください。(担当)

約1.5cm

ここに矢がらの
先端をはさむ

②石鏃(せきぞく)
(中方町射原垣内
遺跡から出土)

拡大すると...



※弓矢は後で作ったものです

【2月 如月】

2月の和名「如月」は、厳しい寒さに耐えるため更に衣を重ねることから「衣更着」や陽気が更に来る時期であるから「気更来」など由来は諸説あるようですが、寒さの中にも春に向けての息吹を感じる季節がやってきます。



この時期に楽しめる植物に椿があります。椿は万葉集に出てきますが、その歴史は古く、縄文時代の遺跡からも出土しています。福井県の鳥浜貝塚では椿の木で作られた赤い漆塗りの櫛が発見されました。その櫛は土から取り出した瞬間は真紅の櫛だったと言われており、縄文時代に漆塗りの技術が存在していたことに驚きます。椿は、木材としては堅さとしなやかさを合わせもち加工に適し、椿油は遣唐使が唐の国に献上したという記録も残っていて、花の美しさだけではなく昔から愛され重宝された植物なのです。

2月のはにわ館では、松阪市の縄文時代について知っていただく企画展を開催します。また、市民ギャラリーでは、陶芸や絵画などの作品展が予定されています。鈴の森公園で春を探しつつ文化財センターにも是非お越しください。(所長)

文化財センター はにわ館 & ギャラリー催し物予定

【はにわ館】入館料 110円 (18歳以下無料) 開館時間は 9:00~17:00 入館は 16:30 まで

第1展示室 常設展 「宝塚古墳の謎」 文化財センターの情報はこちら→
第2展示室 冬季企画展 「これなんなん?なんでなん?~縄文時代編~」 2月4日(土)~3月12日(日)



【ギャラリー】入場無料

第1G ◆嬉野文化協会 陶嬉の会
2月5日(日)~2月12日(日) 9時30分~17時 ※最終日は15時まで

第1G ◆アトリエイ・23展
2月16日(木)~2月19日(日) 10時~17時 ※最終日は15時まで

第3G ◆戸田瑚々音 絵画展
2月18日(土)~2月19日(日) 9時~17時 ※初日は13時から、最終日は16時まで

第1~2G ◆Forever Gakugei 卒業 ALBUM 展
2月25日(土)~2月26日(日) 9時~17時 ※初日は9時30分から、最終日は16時まで



【冬のイベント】

はにわ館 第2展示室
◆ミュージアムトーク「これなんなん?なんでなん?」2月4日(土) 13時30分~ ※申込不要

第3G ◆ワークショップ「縄文もようで遊ぼう」 2月25日(土)・26日(日) ①10時~、②13時~
参加費 300円/個 各回 10人(※要予約) 申し込みは 2/7(火)~2/19(日)にお電話または文化財センターへ

第2G ◆講演会「石をならべた縄文人~天白遺跡について~」3月11日(土)13時30分~
講師 森川幸雄さん(亀山市民文化センター文化課) 参加費無料
定員 30人(※要予約) 申し込みは 2/21(火)~3/7(火)にお電話または文化財センターへ
ポイントラリー 2月25日(土)・26日(日) 9時30分~16時

< 2月の休館日 6日(月) 13日(月) 20日(月) 24日(金) 27日(月) >

【発行】松阪市文化財センター
【☎】0598-26-7330 【HP】<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>